

【第6章】 十二大従星の陽転と陰転

・ 自分の宿命が稼働しているかどうかを分析する技法で、陽転しているときの性格、陰転しているときの性格を自己分析することで、自分で自分の運の状態が、どのような状態にあるか判別できます。

■ 天報星【前世星】 ■

不規則な心。

子供の頃、人生に対する疑問をいろいろ親にぶつける要素があります。両親が迷わずに同じこと教えることで、この星が稼働を始めます。

陽転：明るく活発、いろんなところで自分を活かす方法を考えようとします。千変万化、多芸多才、お天気やさんとなります。内面は単純ですが行動が複雑となります。

陰転：現実世界にとらわれて、地位、名誉、財産にこだわり、一時的に一つのことに集中して、その分野で周りに認められようがむしゃらにエネルギーを発揮します。自我が強く強引な性格となります。一芸に通じる精神性となります。

■ 天印星【赤子星】 ■

甘受する心。

幼少時、家族に愛されることで星が稼働を始めます。

陽転：自分より周りの人のことを大事にしようと考えます。無抵抗ですが怖いもの知らずのところがあります。人に好かれる人です。

陰転：周囲の目、周囲の意識、気持ちを気にしすぎて、慎重で注意深く人に対応しようとします。